学校番号	３０１

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「NEXT 数学 B」　（数研出版）						
副教材等	サクシード数学Ⅱ＋B＋C[数列・統計的な推測・ベクトル]　（数研出版） チャート式　基礎からの数学Ⅱ＋B＋C〔ベクトル〕　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

予習→授業→復習のサイクルの中で，内容（計算過程）についてただ覚えるのでなく，なぜそうなるのかを自ら考えていく過程を大切にしてください。課題を解決する方法を，学んだ知識や経験を基に自ら作り出してください。

復習の家庭学習として問題集を多く活用します。始めは、解答を見ないで必ず自分で考えてみてください。そして解答を参照し，そこでもただ解法を覚えるのでなく，なぜそうするのかを考えてみてください。それで初めて数学的な問題解決力がつきます。

問題集用のノートを用意し，答えだけでなく，途中の式・説明など結論に至る過程を書くようにしてください。思いつかない場合は，解答解説の表現を参考にしましょう。それにより，表現力（記述力）が身につきます。なお，家庭学習の課題は定期的に提出を求めます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活との関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	・数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と社会生活との関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身につけている。 ・日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身につけている。	・数学のよさを認識し活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数列	第１節 等差数列と等比数列 1. 数列と一般項 2. 等差数列 3. 等差数列の和 4. 等比数列 5. 等比数列の和	a:等差数列・等比数列の定義や一般項、和の公式を理解し、正確に計算ができる。数列を関数(定義域が自然数)と関連付けて理解し、具体的な項や和を求める技能を習得している 。 b:数列の規則性を関数の考え方を用いて考察できる。等差・等比数列の相違点や和の公式の導出過程を論理的に理解し、事象の特徴を隣り合う項の関係から的確に表現・判断する力を持つ 。 c:主体的に学習に取り組む態度 数の並びの規則性や和の公式の構造に興味を持つ。隣り合う項の関係に着目して性質を調べたり、ガウスの逸話など公式の背景にある考え方を探求したりしようとする態度を持つ 。	確認テスト 定期考査	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 定期考査	振り返りシート 問題集課題 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題

		第2節 いろいろな数列 6. 和の記号 Σ 7. 階差数列 8. いろいろな数列の和	a:和の記号$¥sum$の性質や公式、階差数列を利用して様々な数列の和を求められる。和と一般項の関係を理解し、部分分数分解などを用いて論理的に計算する技能を習得している 。 b:数列の和を$¥sum$を用いて多様に表現できる。階差数列や群数列など、数列の特徴に応じた適切な手法を選択・判断し、和を求める手順を考察する力を持つ 。 c:自然数の累乗の和の公式の導出や、群数列などの複雑な規則性に関心を持つ。既習の知識を活用して新たな数列の性質を見出し、粘り強く解法を工夫しようとする態度を養う 。	確認テスト 定期考査	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 定期考査	振り返りシート 問題集課題 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
2学期		第3節 漸化式と数学的帰納法 9. 漸化式 10. 数学的帰納法	a:漸化式の意味を理解し一般項を求められる。数学的帰納法の仕組みを理解し、等式や不等式、整数の性質などが成り立つことを論理的に証明する技能を身に付けている 。 b:複雑な漸化式を置き換え等により既知の形に帰着させて考察できる。数学的帰納法を用いて命題の真偽を論理的に推論し、証明の過程を的確に表現する力を持つ 。 c:数列が帰納的に定義されることや、数学的帰納法の有用性に興味を持つ。様々な事象の考察に漸化式を活用したり、証明の論理構造を大切にしながら学習したりしようとする 。	確認テスト 定期考査	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 定期考査	振り返りシート 問題集課題 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題

	統計的な推測	第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値と分散 3. 確率変数の和と積 4. 二項分布 5. 正規分布	a:確率変数と確率分布、期待値、分散、標準偏差を理解し計算できる。二項分布や正規分布の性質、変数の変換や和・積の公式を用いて確率や統計量を求める技能を習得している 。 b:確率変数の和や積の期待値・分散について、独立性などを踏まえて考察できる。二項分布を正規分布で近似するなど、分布の特徴を捉えて適切に処理・判断する力を持つ 。 c:確率分布の特徴や、期待値・分散の公式の成り立ちに関心を持つ。現実のデータが正規分布などに従う様子を数理的に捉え、事象の考察に積極的に活用しようとする態度を持つ 。	確認テスト 定期考査	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 定期考査	振り返りシート 問題集課題 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
3学期		第2節 統計的な推測 6. 母集団と標本 7. 標本平均の分布 8. 推定 9. 仮説検定	a:母集団と標本、無作為抽出の意味を理解している。標本平均の分布や区間推定、仮説検定の手法を用いて、母集団の性質を推測・判断する技能を身に付けている 。 b:標本の大きさや信頼度と信頼区間の関係、仮説検定における棄却域の意味を考察できる。標本調査の結果に基づき、母集団の傾向を統計的な根拠を持って判断・表現する力を持つ 。 c:世の中の調査における標本抽出や推測の仕組みに興味を持つ。推定や検定を用いて不確実な事象を数学的に解釈し、客観的な判断や意思決定に活用しようとする態度を養う 。	確認テスト 定期考査	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 定期考査	振り返りシート 問題集課題 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度